

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 107

政策体系	34	事業分類	ソフト事業	所管部局	企画管理部 企画推進課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 10.交通対 現年		
事業名	バス運行事業				
細事業名	地域交通計画事業				
				評価表作成者	企画政策部 交通対策室 前原 正明

1. 事業の概要

地域の実情に応じた適切なバス運行の計画及び路線、賃金の検討を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹市全域のバス交通システムの利便性を向上させる事業

②事業を実施する必要性

運転免許を持たない方の移動手段として必要なバス交通システムの構築に対して必要

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	136	72	140	122	160	160	160
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	136	72	140	122	160	160
職員等の従事人員	人/年	—	0.20	0.20	0.45			
人件費	千円	—	1,241	1,275	3,431			
事業費総額	千円	—	1,313	1,415	3,553			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

地域公共交通会議 (報酬、需用費、役務費) 122,360円

5. 事業結果の概要

南丹市デマンドバス実証実験運行にかかる協議
 平成23年度より、美山町（大野・長谷線、鶴ヶ岡線、知見線、河内谷線、芦生・佐々線）、日吉町（中世木線、生畑・海老谷線、志和賀線、胡麻線）の運行

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

バス等旅客輸送の確保と利便性向上、地域実情に即した輸送サービス実現に必要な協議を行い、デマンドバス実証実験及び本格運行に向けた評価及び検討を行う。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

バス交通システムの利便性向上等のため、地域公共交通会議において協議、検討する。

■平成21年度の所属長評価

②当該事業のアピール事項

地域公共交通会議により、様々な分野からの意見聴取が可能である。

③反省点、今後の展開・方向性等

バス交通システムの利便性向上や新システムの構築のため、今後も当会議において検討を重ねる。